

報道関係各位

プレスリリース

2025 年 3 月 18 日
株式会社 Liberaware

今津駐屯地での IBIS2 公開研修会を開催 ～訓練場にて、陸上自衛隊員による実践飛行を実施～

株式会社 Liberaware（本社：千葉県千葉市、代表取締役 関 弘圭、以下「当社」）は、3 月 11 日（火）に今津駐屯地（滋賀県高島市）にて、陸上自衛隊員に向けた研修会を実施いたしました。本研修では、当社の小型ドローン「IBIS2（アイビスツー）」の機能説明や、能登半島地震での活用事例、災害訓練への応用についてのプレゼンテーションのほか、訓練場にて操縦体験会を行い、大規模災害に備えて、連携を強化しました。



操縦体験会の様子

■本研修実施の背景

本研修は、先日実施された「南海レスキュー訓練」において、自衛隊関係者から当社の小型ドローン「IBIS2」に対する関心を寄せていただいたことを契機に実施されることとなりました。

「南海レスキュー訓練」の中で当社の「IBIS2」は、倒壊建物内の偵察や要救助者の搜索に活用できる可能性が高いと、大隊長が評価されました。しかし、災害発生から 72 時間以内に救助活動を実施するためには、ドローンの運用体制を確立し、各機関が機体の特性や活用方法を理解しておくことが重要です。

また、当社の「IBIS2」は能登半島地震の被災地でも活用され、倒壊した家屋や火力発電所の内部調査に貢献しました。その経験からも、災害発生時に自衛隊や消防、警察などの各機関とのスムーズな連携が不可欠であり、事前の研修や訓練が重要と考えていました。

■本研修の概要

本研修は、2025 年 3 月 11 日（火）に今津駐屯地（滋賀県高島市）にて、小型ドローン「IBIS2」の公開研修および操縦体験会を以下の内容にて実施しました。

▼研修内容

- IBIS2 の特徴や機能に関する説明および能登半島地震での活動報告
- 陸上自衛隊員が訓練場で「IBIS2」を操縦体験
- 実現場に即した環境での飛行操作を通じたドローンの有用性確認

■研修に参加した陸上自衛隊員のコメント

「自衛隊として災害時使用している災害用ドローンを保有・訓練しているが、リベラウェア社の「IBIS2」は屋内での使用が可能である唯一無二の機体性能であり、偵察用や災害救助で活用することができるものだと思います。今後災害が起きた際は JUIDA（一般社団法人日本 UAS 産業振興協議会）との連携を踏まえて「IBIS2」が活用される可能性が高いと思われるので、連携を強化していきたいと思います。」



陸上自衛隊員が操縦体験している様子



訓練場で飛行している様子

■今後の展開

今後、自衛隊や防災関係機関が「IBIS2」を運用することで、救助スキームへの組み込みや、災害時の迅速な情報収集体制の構築が期待されます。本研修を通じ、陸上自衛隊との連携を深めるとともに、災害時の救助活動・情報収集における「IBIS2」の実践的な運用方法の確立に向けて協議してまいります。

本件は当社の成長戦略に沿った災害対応における各機関との連携強化の一環として位置づけており、今後も陸上自衛隊をはじめ、消防や警察等の各機関と更なる連携を進めてまいります。

▼会社概要

■「株式会社 Liberaware」とは

株式会社 Liberaware は、「誰もが安全な社会を作る」をミッションに掲げ、世界でも珍しい「狭くて、暗くて、危険」かつ「屋内空間」の点検・計測に特化した世界最小級のドローン開発と、当該ドローンで収集した画像データを解析し顧客に提供するインフラ点検・維持管理ソリューションを行っております。弊社は、ビジョンでもある「見えないリスクを可視化する」ことに邁進し続け、人々に安全で平和な社会をお届けします。

会社名：株式会社 Liberaware（リベラウェア）

代表者：関弘圭（ミン・ホンキュ）

所在地：千葉県千葉市中央区 3-3-1 設立：2016 年 8 月 22 日

事業内容：・産業分野に特化した非 GPS 型小型ドローンの開発

・IoT 技術・人工知能を活用したシステム開発

・小型ドローン「IBIS」を活用した点検・測量ソリューションサービス

・小型ドローン「IBIS」の販売・レンタルサービス

・映像加工・編集サービス（距離計測、異常検知等）

URL：<https://liberaware.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 Liberaware 広報：向山

TEL：090-7195-4421 / 043-497-5740 MAIL:pr@liberaware.com